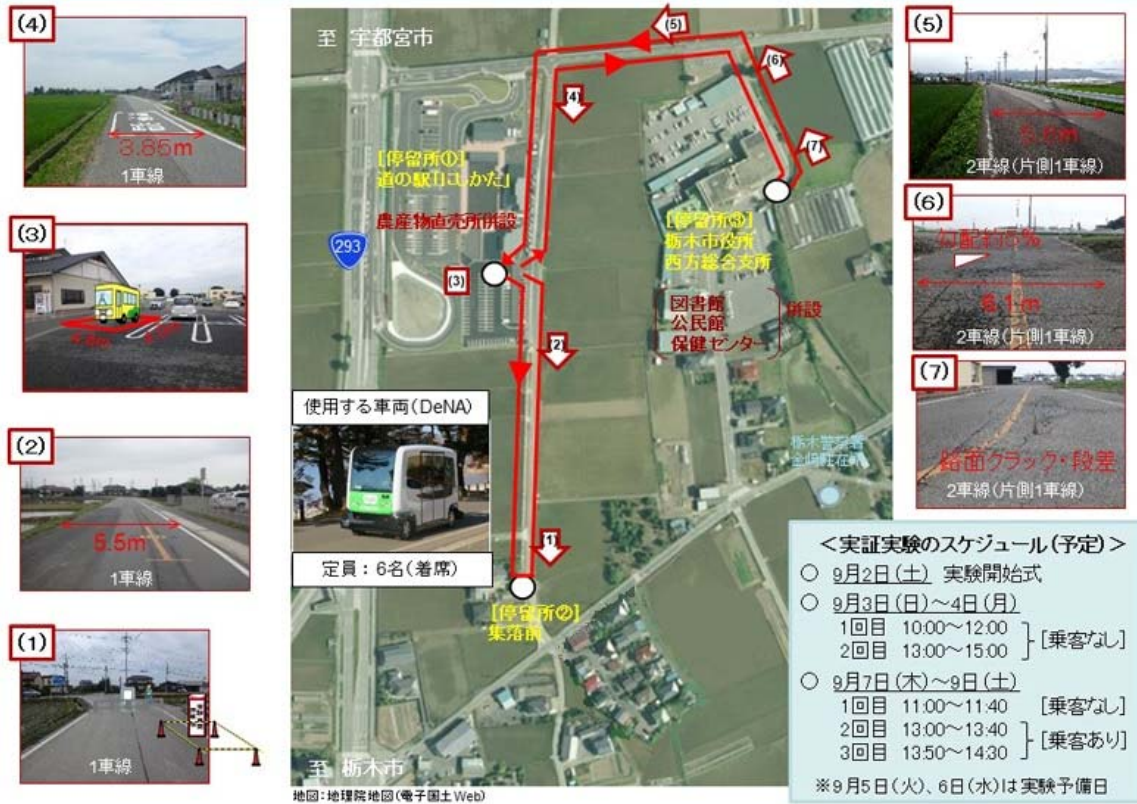


## 実験概要

### 道の駅「にしかた」自動運転実証実験ルート (走行延長 約2km)

参考1



## 実証実験における主な検証項目



【使用車両】：DeNA小型バスタイプ [レベル4(専用空間)] ※緊急停止用に係員が乗車

- あらかじめプログラムされたルート、GPSや慣性計測装置、事前に取得した点群データにより自車の位置を特定し、LIDAR(光を用いたレーダー)により障害物を検知しながら走行。
- プログラムされたルートから外れた場合、又は障害物を検知した場合は走行停止。※障害物等の回避は不可

【主な検証項目】：全て専用空間内

項目	無人走行	有人走行
①道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 厳しい道路状況を再現し、自動運転に必要なとなる道路の管理水準を検証                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面上の落下物や水たまり</li> <li>・駐車車両や繁茂した雑草に見立てた障害物</li> </ul> </li> <li>○ 「道の駅」内に歩行者との混在空間を再現し、乗降の運用方法を検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 走行ルート内の路面の段差や勾配における走行性を検証</li> </ul>
②地域環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雨によるLIDARの検知能力の低下の程度を検証 (GPS、携帯電話網の電波受信環境は良好)</li> </ul>	
③コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 車両の維持管理コスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専用空間化のためのコスト</li> </ul>
④社会受容性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実験参加者等へのアンケートにより検証                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転技術への信頼性</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転車の乗り心地</li> </ul>
⑤地域への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道の駅からの配送実験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落へ食料品等の配送</li> <li>・市役所支所へ弁当の配送 等</li> </ul> </li> <li>○ 集落から道の駅への農作物出荷箱の配送実験</li> <li>○ 図書館と集落間の貸出本・返却本の配送実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の外出を促す実験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅での買い物や公民館での講座受講 等</li> </ul> </li> <li>○ 実験参加者へのアンケートによる自動運転サービスの活用方法</li> </ul>

## 道の駅「にしかた」の概要

### 《「道の駅」の概要》

- 設置者：栃木市
- 供用：平成21年11月
- 全体面積：約20,000㎡
- 利用状況：年間売上高 約3億4千万円  
年間利用者 約38万人
- 特長：地元農産物を活用した  
オリジナル商品を販売



### 《全景写真》



### 《道の駅を活かした取り組み》

